くも合戦

広報 かじき

題字　宇都宮町長

No.398
昭和62年 12月号

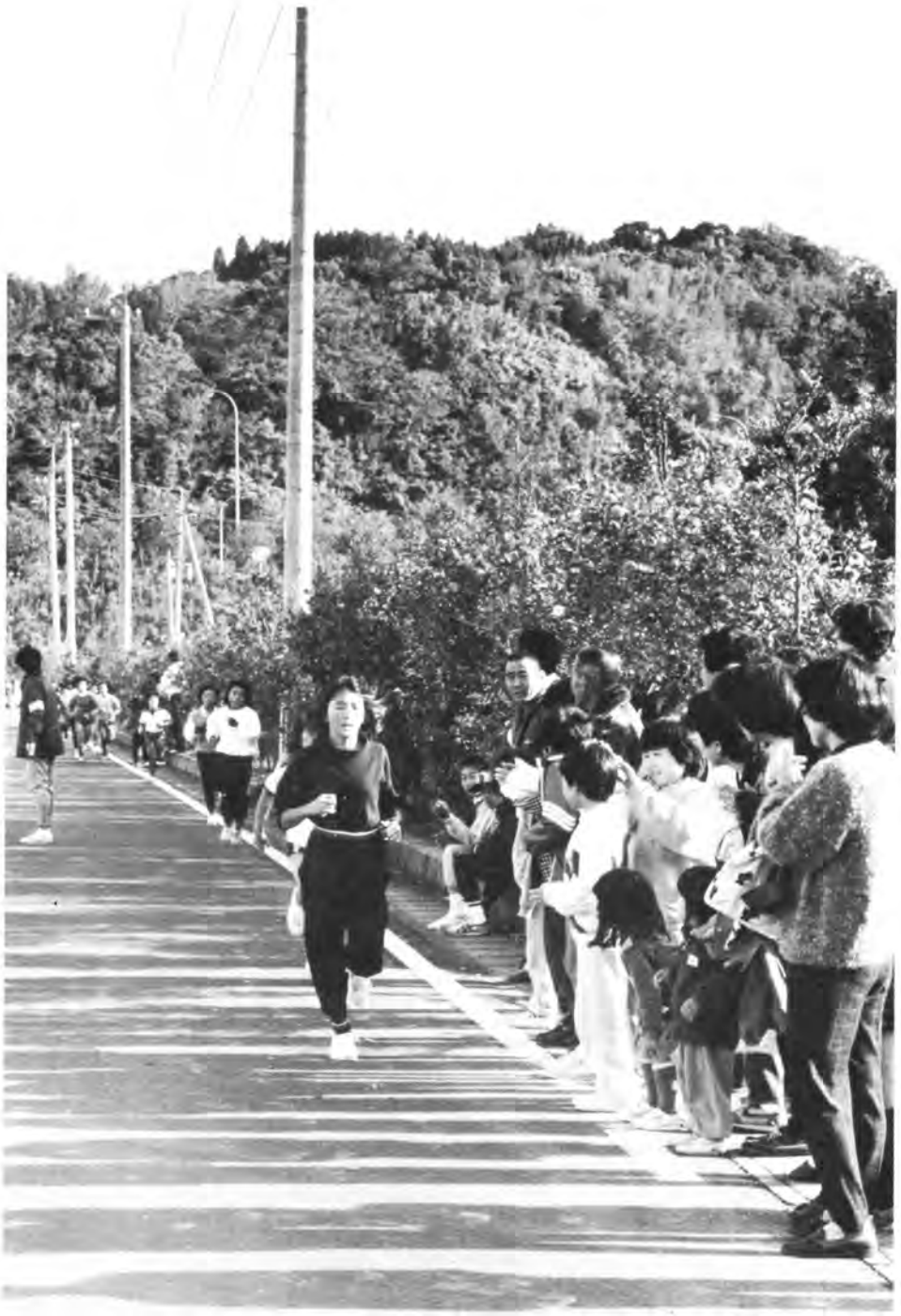
発行　加治木町
編集　総務課

手帳

年末を控えて手帳売り場がにぎわっています。最近の流行はバインダーに、スケジュール、アドレス、カード入れなど何でもパッケージしたシステム式手帳。もう一つの新顔は電子式の手帳で、漢字でメモ書きができ、百年以上先までのスケジュールや、千五百人分の電話番号を記憶するなどの機能を持ったものも出ています。最近は子供や主婦もスケジュール手帳を持つようになりました。世の中ますます多忙になりそうです。

ところで年末年始には事故や犯罪が増加します。

「思いやり」と「ゆとり」を持って、交通安全に特に注意するよう努めましょう。



師走に走る（町ジョギング大会）

活力にみちたむらづくりを

第九回 町農業祭

農村振興運動十年の経過を振り返り、さらに「活力とぬくもりにみちたむらづくり」を進めていこうと、第九回町農業祭が十一月二十九日、町営体育館と役場グラウンドを会場に開催され、おおぜいの人でにぎわいました。

農林畜産物や生活改善パネルなどが展示された体育館で行われた式典では、農林畜産品評会で優秀な成績を納められた方々の表彰が行われた後、農村振興運動十年の経過を振り返り、三期対策として「①希望とやる気をふるいおこし産業として自立し得る農業の確立に努める②地域における自主的活動をすすめ「自立自興」のむらづくりを実践する③目標をしぼった活動を展開し、一つ一つ着実にむらづくりの課題を解決する④地域住民全員の知恵とエネルギーを結集し、総動員体制によるむらづくりをすすめる」という宣言を参加者全員の拍手で採択しました。

式典の後、演芸大会や野菜・水産加工品の即売、牛・豚の体重当て、親と子の木工教室、鶏のつかみどりなど各種の催しも行われ、一日中にぎわっていました。

宣言を採択

にぎわった青空市場

勲四等旭日小綬章を受賞

湯田 實さん（竹下）

湯田 實さん

各界で長年活躍され、功労のあった方々に贈られる「秋の叙勲」が十一月三日皇居で行われ、加治木町から竹下の湯田實さんが「勲四等旭日小綬章」を受賞されました。

湯田さんは、明治三十七年生まれの八十三歳。大正十一年に旧制加治木中を、大正十四年に鹿児島高農（現・鹿大農学部）を卒業後、伊佐農林高校の教員として九年間勤められ、昭和十年（三十歳の時）に山口県の新設校・県立田布施農業学校の教頭として迎えられて以来、山口県立女子農業学校（現・高森高校）、広瀬高校など新設校の校長として学科の創設や施設の拡充に尽力されました。

湯田さんは「十九年間も校長を務めたことと、昭和二十五年から十三年間山口県の林務部・土木部の審議委員をして来たことが認められたのでしょうか。小さな体と頭を使って新設校のために尽くしてきて、遊ぶ暇もなかった。今、教え子が活躍してくれているのが楽しみです」と話されました。

773点の作品を展示

第29回 町美術展

小・中学生の習字や図工と一般の作品七百七十三点を集めて第二十九回町美術展が十一月六日から八日までの三日間、福祉センターで開催され、訪れたおおぜいの参観者は、一つ一つの作品に見入り、"芸術の秋"を満喫していました。

特別賞の表彰式は、十一月六日福祉センターで行われ、次の方々が受賞されました。

◎町長賞
毛筆 老山久美子（柁城小六年）
工作 湊 和美（竜門小六年）

◎町議会議長賞
毛筆 福永桃子（加 中二年）
絵画 田尻正幸（加 中三年）

◎町教育委員会賞
毛筆 恒吉由美子（加 中三年）
絵画 大山智行（永原小四年）

◎南日本新聞社賞
毛筆 竹野勝彦（柁城小三年）
絵画 森園雄二（柁城小三年）

◎町商工会長賞
毛筆 中園寛子（加 中一年）
工作（共作）松山貴之 日高政彦 坂元亮太（加治木小一年）

◎町農協長賞
硬筆 濱崎直子（加治木小五年）
デザイン 山崎千春（加中 二年）

◎南日本書道会賞
毛筆 木原りえ（柁城小四年）
硬筆 前田さとこ（錦江小一年）
硬筆 西 真理子（柁城小二年）

◎姶良地区美育協会賞
工芸 中村英二（加治木養護学部二年）
工作 塩屋ゆかり（錦江小六年）

特別賞の受賞者

全国大会に出場

能見良二さん 黒田優嗣さん

天神の能見良二さんが十二二十八日から大阪で開催される全国高校ラグビー大会に、また、岩原西の黒田優嗣さんが一月一日から東京で行われる全国高校サッカー選手権大会に出場されます。

（共に鹿児島実業で活躍中）

御二人の御健闘を期待しています。

日ごろの学習の成果を発表

町小・中学校合同音楽会

町小・中学校合同音楽会が十一月二十七日、錦江小学校の体育館で開催されました。

演奏会では、竜門小学校の一年生による斉唱をはじめ、子供たちが夏休みや音楽の時間などに練習を積んできた合奏や合唱など学習の成果が次々に発表されすばらしい演奏や歌声に、集まった父母からは盛んな拍手が沸いていました。

すばらしい演奏を披露

立ち見も出た芸能発表会

第二十一回町文化祭

第二十一回町文化祭は十一月二日と三日の両日、福祉センターで開催され、芸能発表会では、あいにくの雨にもかかわらず、立ち見も出るほどの盛会ぶりでした。

会場には、会員が丹精を込めて揮ごうした書や絵画をはじめ、写真や短歌、俳句、編み物、生け花、盆栽などのすばらしい作品が展示され、訪れた人たちは一つ一つの作品を熱心に鑑賞していました。

また、和室で催された茶道同好会による茶会では、静かにお茶を楽しむ姿も見られました。

昼夜二回にわたって行われた芸能発表会では、コーラスや吟道、琴、日本舞踊、尺八、三味線、三B体操など五十一の芸能が次々に披露され、集まったおおぜいの観衆からは盛んな拍手が沸いていました。

すばらしい作品に見入る

美しい歌声で魅了

コールのばら定期演奏会

混声合唱団・コールのばらの第八回定期演奏会が十一月十四日、福祉センターホールで行われ、美しい歌声が集まった約四百人の観衆を魅了しました。

この日は、七月四日鹿児島のばら会のオペラ公演「カルメン」で歌った「たばこ女工の合唱」や「闘牛士の歌」など四曲をはじめ女声合唱による「冬の夜」「あの町この町」、男声合唱による「遠くへ行きたい」「私は誰でしょう」など二十五曲を熱唱しました。

フィナーレの後、法元隆男団長が「これからも練習を重ねていきたい」とあいさつすると会場からは盛んな拍手が沸いていました。

美しい歌声に聞き入る

わたしの見た加治木町《6》

町づくりに自分は何ができるかを

加治木税務署長 **福田照雄**

私は、二十年ぶり二度目の加治木税務署勤務です。

前回勤務時の印象は「山と水と明るい光に恵まれた人情豊かな町」でした。

私が鹿児島弁を話すという事を割り引いても、今回も前回と同じ感じを受けております。

さて、地方の時代と言われながらも、過疎化が進んでいる中にあって、加治木町は、人口三万都市を目指して各種施策を実行しておられ、立派な事だと思います。

加治木町の立地条件を考えますと、鹿児島市と国分隼人テクノポリスを結ぶ「結節都市」であり、歴史と自然の町である、ということでしょう。

山と水と光を生かし、環境保全を考えながらの施策は難しいことも多いと思います。

しかし、立地条件を生かしながら、三万人都市を実現するため、まず手をつけなければならないのは、道路の整備ではないでしょうか。

先日、「加治木バイパス建設促進大会」が開催されましたが、是非とも早期に着工していただきたいものだと思います。

このような事業を行う場合に最も大切なことは、町民の皆さんが大同団結することではないでしょうか。

町報をよく読み、町民一人一人が加治木町の将来を考え、魅力ある町づくりに自分は何ができるかを、皆さんでよく語り合っていただきたいと思います。

◆プロフィール

鹿児島市の御出身で、昭和25年に鹿児島税務署に入署。

趣味の囲碁は日本棋院五段の腕前。今年7月に赴任後開催された加治木支部の大会でも見事“優勝”に輝かれた。

囲碁の魅力は「友達もできるし、知らない人と対等に付き合えるのがいい」とか…。

まちのわだい

黒ジョカで美化を呼びかけ

竜門五月会　町衛生協会

小山田の犬童石油店前の県道の一角に「空き缶の投げ捨ては、やめましょう」と書かれた看板と、空き缶で作った〝黒ジョカのみこし〟が、十一月十五日建てられ、人目を引いています。

この黒ジョカは、竜門五月会の会員が清掃奉仕で集めた空き缶六百個あまりを使って製作し、今年の夏まつりのみこしコンテストで金賞に輝いたもので、「空き缶の投げ捨てを少しでもなくし、美化運動を推進するため役立てば」と竜門五月会の会員十人あまりが奉仕作業で飾ったものです。

この日は、町衛生協会の宮路義彦会長も訪れ「これで少しでも空き缶の投げ捨てがなくなれば」と話していました。

“青少年の健全育成を”

キャラバン隊が来町

地域ぐるみで青少年の健全育成を進めようと青少年健全育成広報キャラバン隊の一行が十一月十六日加治木を訪れ、宇都宮町長に総務庁長官と県知事からのメッセージを伝達しました。

ゲートボールで交歓

民生委員と加治木小5・6年生

町民生委員協議会（竹内親男会長）の会員二十五人と加治木小学校の五・六年生七十人あまりが十一月二十八日、加治木小学校運動場でゲートボールを楽しみました。

これは、子供たちと交流を図ろうと町民生委員協議会が「青少年の夢と希望をはぐくむ運動月間」の行事として初めて実施したものです。

この日は、民生委員の方々の手ほどきを受けた後、さっそくゲームに移り、ゲートを通過するたびに盛んな歓声が沸いていました。

マラソンで防火を呼びかけ

姶良郡西部消防組合

秋の全国火災予防運動が始まった十一月二十六日、姶良郡西部消防組合では防火マラソンを行い、火の用心を呼びかけました。

この日は、署員十八人が加治木、姶良、溝辺、蒲生の四か町の五十九・四キロを「一一九」のゼッケンを着け、「火の用心」「火災予防運動」と書かれたタスキをリレーし、道行く人などに〝防火〟を呼びかけました。

まちのわだい

蒲生田通りにガス燈を設置

加治木ガス

蒲生田通りの鹿児島銀行の一角に、県内では初めての〝ガス燈〟が設置され十一月二十日、点火式が行われました。

これは、加治木ガスが今年創立二十周年を迎えたのを記念して贈ったもので都市ガス七千キロカロリーの熱量で白熱電球百ワットに相当する明るい光をともすことができるものです。

この日は、福村厚行社長や宇都宮町長、町商工会長らがテープ・カットを行った後、さっそく点火され、集まった人たちは明るい光に見入っていました。

ミニバイクの乗り方を

交通安全母親指導者研修会

子供を持つお母さん七十人あまりが参加して、交通安全母親指導者研修会が十一月二十日、役場グラウンドで行われました。

研修会では、加治木警察署員と二輪者普及協会員が、自転車とミニバイクの正しい乗り方を指導。参加者は交差点などが設けられたコースを実際に走りながら熱心に研修していました。

グラウンド・ゴルフで交流

ふれ合い事業モデル地区

地域ぐるみで青少年の健全育成に取り組んでいる「ふれ合い事業モデル地区」の交流大会が十月二十五日、加治木小学校グラウンドで開催されました。

大会には、下新道、向江町、西反土・川原、吉原、田中の五地区百八十人あまりが参加して、グラウンド・ゴルフなどを楽しみながら交流を深めました。

ごみ処理場見学と研修会を開催

錦江第1地区の公民館婦人部

錦江第一地区の公民館婦人部（佐藤くまえ会長）では十月二十一日、吉田町のごみ処理場の見学と研修会を開催しました。

処理場では、職員から「不燃物と可燃物の仕分けがされていない。また、運ぶごみの三分の一は水分で、これが燃料費の無駄使いになっている」などの説明を受けながら施設を見学しました。

この後、向江町公民館で開かれた研修会では「水切りはしっかりしよう」「空き缶はカン太郎へ」など活発な意見が出され、実践していくことを確認し合いました。

城北地区が優勝

地区対抗駅伝大会

地区対抗駅伝大会は十一月八日農協育苗センター前をスタートし木田本通り線などを回る十区間・二十・五キロのコースで行われ、十三地区の選手が沿道の盛んな声援を背に健脚を競い合いました。

大会では、城北地区が三区間で区間賞を獲得。二位の木田第二地区と三十八秒差の一時間九分五十四秒のタイムで優勝しました。

◎地区別順位

優勝…城北地区▽二位…木田第二地区▽三位…城西地区▽四位…城東第一地区▽五位…錦江第一地区▽六位…木田第三地区▽七位…錦江第三地区▽八位…錦江第二地区▽九位…竜門地区▽十位…木田第一地区▽十一位…永原地区▽十二位…城東第二地区▽十三位…城南地区

次の走者へバトンタッチ

沿道の声援を背に力走

◎区間賞

一区　鳥丸一洋（城北地区）九分二十二秒
二区　向江真智子（木田第三地区）三分九秒
三区　藤田きよみ（城南地区）一分二十一秒
四区　上村光秋（永原地区）九分四十七秒
五区　南田楠夫（竜門地区）六分二十七秒
六区　大野隆弘（木田第二地区）九分三十六秒
七区　吉村拓実（城東第一地区）六分五十二秒
八区　村岡達雄（城北地区）九分二秒
九区　上野メリ子（木田第二地区）三分九秒
十区　川田純也（城北地区）六分十八秒

町老人クラブ連合会が3年連続優勝

地区老人スポーツ大会

第十六回姶良伊佐地区老人スポーツ大会は十月三十日、二市十二町が参加して、溝辺町コミュニティセンターで開催され、加治木町老人クラブ連合会が三年連続優勝の栄冠に輝きました。

大会には、町老人クラブ連合会の体育部長・岩元徳志さんら三十一人が参加し、輪入れやあめ玉交換、ビンころがしなど八種目の競技に熱戦を展開。各種目で好成績を収め、三年連続・八回目の栄冠を獲得しました。

表彰式では、地区老人クラブ連合会の稲田進会長から優勝旗が岩元・体育部長に手渡されました。

表彰を受ける町老人クラブ連合会

家族で話そう交通安全 15

スーパーマーケットの駐車場に入って来た乗用車の助手席に幼児が二人立って乗っているのを見て驚いた。近づいて見たら知り合いの奥さんだったので、なぜ、こんな危険な乗せ方をするのか聞いてみた。

☆子供の乗車は、日常茶飯事なのに……

車の中での「しつけ」

「この子たち、後ろに乗せていても、運転席と助手席の背もたれの間を抜けて前に来てしまうのよ。今度車を買い代える時はセパレート・シートをやめてタクシーみたいなベンチ・シートにするわ」と言う。

子供が危険なことをするのを車のせいにしているのだ。

今、車は一家に一台、複数保有の世帯も少なくない。そして子供の乗車は日常茶飯事になっている。子供の車内での事故も増加している。

子供の交通安全教育というと歩行者としての教育が中心だが子供の乗車についての教育にも力を入れる必要がある。

教育というよりも、もの心つくと同時に始める「しつけ」というべきなのかもしれない。

まず、子供には、自動車は危険なものであることを理解させたい。

■後ろの席に乗る。
■チャイルド・シートのベルトを締める。
■車の中を動き回らない。
■窓から手や顔を出さない。

などは基本的なしつけである。

また、

■車が止まった時、勝手に飛び出さない。
■車に乗る時は子供が先、降りる時は親など大人が先。

ということは、必ず守りたい。

また、駐車場内を歩く時は、大人と手をつなぐ習慣を身につけておきたいものだ。

127チームが技を競う

第20回義弘公奉賛剣道大会

第二十回義弘公奉賛剣道大会は十一月二十三日、昨年より三チーム多い百二十七チームが参加して加治木中学校体育館で開催され、日ごろ鍛えた技を競い合いました。

結果は次のとおりです。

◎**小学生の部**（四十二チーム）
優勝…正剣館
二位…重富剣道スポーツ少年団A
三位…福平剣道スポーツ少年団
城西剣道スポーツ少年団

◎**中学校の部**（五十三チーム）
優勝…隼人中A
二位…隼人中B
三位…重富中A
隼人剣道スポーツ

◎**高校の部**（十五チーム）
優勝…鹿児島実業高校A
二位…鹿児島実業高校B
三位…鹿児島商業高校B
加治木高校A

◎**一般の部**（十七チーム）
優勝…姶良町剣道A
二位…鹿児島西警察署
三位…隼人支部
福平剣友会

熱戦を展開

義弘公剣道大会

三種目で記録を更新

小学校陸上記録会

小学校陸上記録会が十月三十日加治木小学校で行われ、三種目で新記録が生まれました。

新記録は次のとおりです。

◎六年生女子八〇〇㍍走
向江真智子（加治木小）2分37秒7

記録更新を目指して

◎六年生男子一、〇〇〇㍍走
川田純也（柁城小）3分15秒2

◎六年生男子四〇〇㍍リレー
横山博敏・北薗稔（加治木小）
外園耕司・高桑泰之　57秒0

小学校陸上記録会

三人が区間賞を獲得

姶良地区市町対抗駅伝

第十七回姶良地区市町対抗駅伝競走大会が十一月二十二日行われ吉松駅前をスタートし、国分市役所前までの十七区間・四十三・三㌔に健脚を競い合いました。

大会には、十二市町から十三チームが参加。加治木町チームは、三区の鳥丸一洋さんをはじめ三人が区間賞を獲得するなど健闘し、昨年の記録を一分四十秒短縮する二時間十九分五十二秒のタイムで昨年と同じ四位に入賞しました。

区間賞は次のかたがたです。

▽三区（二・七㌔）
鳥丸一洋（加治木中・二年）
8分34秒

▽七区（四・五㌔）
桑迫千尋（一般）
13分57秒

▽十一区（一・一㌔）
向江真智子（加治木小・六年）
3分28秒

総合優勝はセントラル

秋季ナイターソフト（総当たり）大会

秋季ナイターソフト（総当たり）大会は、九月三日から十一月十六日まで町営運動場で開催されました。

結果は次のとおりです。

◎Aクラス（四チーム）
優勝クリーン
二位セントラル
三位無邪気

◎Bクラス（九チーム）
優勝合庁クラブ▽**二位**須崎
三位スネークス・
■**総合優勝**セントラル▽**二位**無邪気▽**三位**クリーン

「子供のエネルギーを導き出す」

町婦人一般教養講座

NHK「お母さんの勉強室」のリポーターとして活躍されている平田圭子先生を講師に迎えて、町婦人一般教養講座が十月十五日、福祉センターで開催されました。

平田先生は「その子らしさを育てる母親の方」と題して「学校やドリルにお願いしていれば子供は育つと思っているが、実は毎日の子供との接触の中に教育やしつけのチャンスは山のようにある。子供の持つ未知のエネルギーをいかに導き出し教えるか、水路づけするかが大人であり、親であり、教師である」と講演し、参加した百三十人あまりの子供を持つ母親や高齢の婦人は熱心に聞き入っていました。

平田先生の講演

遺族らが献花

町戦没者追悼式

戦没者を追悼

町戦没者追悼式は十一月十八日遺族など三百人あまりが出席し、福祉センターでしめやかに行われ先の大戦でなくなられた方々の霊を慰めました。

式典では、宇都宮町長をはじめ町議会の郡山総務委員長、稲恒肇町遺族会長、遺族代表の越牟田頼子さんが追悼の言葉を述べ、また、岳心流詩吟学院の鈩野岳智さんが詩吟「鳴呼硫黄島」を献詠した後、遺族ら参加者全員が、祭壇に菊の花をささげ、戦没者の方々を追悼しました。

ゴールテンロードランブル 金山道漫歩 18

女の詣でる処 (二)

千鳥庵水巴の墓

秋色濃い小春日和に、桜樹山性応寺の白い塀に沿って、歩を東に進めると、左に法城院高野山があり、少し行くと一里塚に突き当たる。そこから右に折れ墳墓の道に入る。右に海岳山東楽寺跡墓地、右に松月山霊鷲院本誓寺跡墓地がある。

この本誓寺墓地の真ん中所に俳諧人・千鳥庵水巴の墓があり墓碑に立山善兵衛養女、賦命六十四、文化二乙丑正月十五日と記され、その脇に建つ俳人二十三名が献じた碑に、それぞれ追善供養の句が刻まれ、その中の一句「人いつこ梅は垣根にありながら　琴松」がある。

今からおよそ二百四十余年前ちょうど龍門司坂石畳道が完成するころ、向江町の立山長兵衛の娘・美江が誕生した。美江は成長するにつれ美ぼう容姿端麗にして三味線をよくし、俳句に情熱を燃やしていた。俳諧で有名な伊勢春海に師事し、俳句の修業をし、めきめきと上達していった。

美江は、はじめ洋々園水巴と号していたが、そのころ武州の俳人蕉下庵玉笥（墓は東楽寺墓地にあり、俳聖松尾芭蕉の旅の跡を慕って松島付近を訪れはいかいし作句していたが、諸国行脚の末加治木にたどり着いたのは明和八年だったという。蕉世四代を名乗る玉笥は音曲にも秀れ門弟百余名もあり、俳諧の中興の翁ともてはやされていたが惜しいことに天明二年九月二日五十歳で没している）が来て、水巴の作「干潟にも白浪たつる千鳥かな」を聞いて感動し、千鳥の句から「千鳥庵水巴」と号を与えたということである。

水巴の快心の作として、

明月や釣べの水も捨てられず
紅葉せぬ山も秋なり鹿の声

また、玉笥追悼の句に「名は代々に残れど惜しや散る紅葉」がある。

干潟にも白浪たつる千鳥かな（水巴）

千鳥庵水巴が俳句で活躍していたころ、加治木領主島津錦水は長崎の学者伊藤世粛を招き、硫英館を建て秋岡冬日などに学問を広めさせた。また、刀匠では池正光がいた。このように文化の香り高い加治木には文化人の往来がはげしかったのは当然であろう。天孫降臨の歴史を造った我々祖先の加治木人はいつも文化を創造し、心のふれあいを大切にしてきたのである。

今、ホール文化の時代とよくいわれるが、心の文化ホールを持つ加治木町文化協会の女性会員は絵画、作歌詩、生花、舞踊、音楽などなんでもこなせる方々が多いのも、やさしかった水巴先婦の祖霊が遠いかなたより見守っておわしますからだろう。

文と写真　松田　繁美
さし絵　新福　貢

千鳥庵水巴の墓

加治木小学校が入選

南日本花だんコンクール

花いっぱい運動を通じて、美しい郷土づくりを、地域社会や学校ぐるみで進めようとサンライフ運動協議会が実施している第十九回サンライフ南日本花だんコンクールで、加治木小学校が入選に輝き、また、同時に開催された第二回サンライフ町花だんコンクールでは加治木小学校が特選に、西諏訪自治会、豊町長寿会、錦江小学校が入選に選ばれました。

表彰式は十一月二十日町長室で行われ、宇都宮町長からそれぞれ表彰状が贈られました。

郷土の美化に寄与

桐山三千代さんが8段に合格

全国書道検定

第百三十八回全国書道検定（日本教育書道連盟主催）の審査が九月二十日東京で行われ、桐山三千代さんが八段に合格されました。

結果は次のとおりです。

▽**一般部**（高校・大学・一般）

〔漢字科〕

八段　桐山三千代
仮八段　稲留ヒロ子
準八段　古城ミヨ
準六段　大宮路照子
準四段　永田かよ子
三段　枝次康子
準三段　小野三男　坂元菊志
松元　実
準二段　新納純雄
初段　重廣君代
準初段　北原　勲　堀之内チエ
山下郁代　坂元英蔵
中村好一　川原慶子
権限免マリモ

〔かな科〕

準八段　肥田　栄　梅木テル
▽**教育部**（小・中学生）
五段　田中ともみ　上野美佐子
準四段　上野芽里子
準三段　河原良子　中川智恵
蓬原則行　野崎沙織
準二段　松葉瀬春美　吉薗令子
準二段　神薗隆行　松木美智代
初段　日置美千代　稲留大輔
竹之内貴史　阿部和美
中川勝徳　久保文則
小山田さつき
準初段　内村由美　中村　誠
福重つや子

毒草

ノイバラ

山野に自生するバラ科の落葉低木。幹や枝に刺があり、四、五月に開花、十一月ごろ球形の果実を赤熟させる。

海岸やがけに多いテリハノイバラは、葉につやがあり、開花は七月ごろである。

いずれも果実を生薬名で「営実」と呼び、瀉下剤、利尿薬に用います。

しかしながら作用が激しく、急激な下痢をするので、素人療法は禁物です。

ザクロ

小アジア地方の原産で、日本では通常庭園に植栽されるザクロ科の落葉高木、高さ十メートル以上になる。六月ごろ朱赤色の鮮かな花が開く。

果実は十月ごろ熟し食用となる。液質は甘ずっぱい味が強い。

根皮、樹皮を漢薬では石榴皮石榴根皮といい、条虫の駆除に用いる。用量により、嘔吐、めまい、むかつき、下痢などを起こすので、素人療法は禁物です。

ソテツ

三億年前に地球上に誕生した植物で、九州南部や琉球に自生する雌雄異株。

往年は幹や種子からでんぷんを採り、救荒植物として使用した。

全株に発がん物質があり、飲食すれば呼吸困難、めまい、嘔吐などの中毒症状を呈する。

素人の利用は禁物です。

（筆者県民の森　上萩大治）

▽無断転載は、御遠慮ください。

熔岩の陰に人住む枇杷の花　柳田　稔
連山の紅葉なだるる出湯まち　内田美津代
腕椀げし仁王が睨む柿の秋　川崎　黒兎
厨に立つ気力戻れりとろろ擂る　古江　重美
町騒の遠くに住みて虫時雨　佐々木かすみ
勲章に縁なき身なり菊を愛づ　高木　正男
夫の忌もはるけくなりぬ菊日和　竹山　洋子
味噌麦を蒸す小春日の老夫婦　恒吉　斗南
熱辯に聴き入る講座冬の雨　上野　光
隼人塚樟の実夜もこぼれつぐ　鶴田　耕
火山灰の日日青空を恋ふ冬仕度　三浦　ゆう
悪童も年年減りて柿たわわ　加藤　白柳

空き缶はカン太郎へ

お知らせ

締め切りは一月十六日
町立幼稚園の願書

町立幼稚園の六十三年度の入園願書を、次のとおり受け付けます。

■入園願書及び案内書の配布
十二月十四日から、各幼稚園で配布しています。

■入園願書の受付期間
六十三年一月八日（金）から
一月十六日（土）　十一時まで

■入園願書の提出場所
▽錦江小学校区及び加治木小学校区（新中・西ノ原・楠園・中福良東・中福良後・弥勒・上木田・小鳥・赤坂・原ノ門・中央）は
……錦　江幼稚園
▽右記以外は……加治木幼稚園

■募集園児数
加治木幼稚園　九十人程度
錦　江幼稚園　四十人程度

■応募資格
町内に居住し、昼間家庭に保護者がいる、健康な四歳児と五歳児

▽**四歳児**…五十八年四月二日から五十九年四月一日までの出生児
▽**五歳児**…五十七年四月二日から五十八年四月一日までの出生児

■選　考
願書の締め切り後、各幼稚園で一月二十七日（水）に行います。
（方法と時刻は、申込者全員に各幼稚園から通知します。）

■問い合わせ先
加治木幼稚園（☎62―2502）
錦　江幼稚園（☎63―2038）

〝初日の出〟を高岡公園で

西別府大字（東悟区長）では、五十八年から育成部や婦人部、PTAの協力を得て、高岡公園で〝初日の出〟を拝覧される方々に無料で「ぜんざい」を食べていただいております。これは、地元大字が「高岡公園の良さをみんなに知ってもらい、活気ある公園に役立てば……」との願いからです。

高岡公園は、眼下に加治木の街の全景、高速道路そして錦江湾に浮かぶ雄大な桜島を眺望。また、竜門滝と旧加中校歌・町民歌に歌われている蔵王嶽など加治木の名所はもちろん、鹿児島空港の飛行機の離着陸まで見られ、しかも、隈姫神社から遊歩道が通じています。戦時中は監視塔まで作られていた場所。これが今だに眠る公園のような気がして寂しい思いがいたします。

「一年の計は元旦にあり」といわれますが〝新年の初日は、高岡公園で〟……昨年は四百人あまりの人出でした。年々増加することを希望しています。そして、活気ある公園にみんなの力で築いていただければ幸いと思います。

◇　◇　◇　◇

大字の東悟区長から「今年もぜんざいを準備しますよ」とお便りをいただきました。

御家族そろって、お出かけになりませんか？

三十日と三日は休業
町営公衆浴場

年末・年始の町営公衆浴場の営業時間は、次のとおりです。御協力をお願いいたします。

■十二月二十九日（火）
午後二時から午後六時まで営業

■**十二月三十日（水）　臨時休業**

■十二月三十一日（木）
午後二時から午後六時まで営業

■一月一日（金）及び二日（土）
午前八時から正午まで営業

■**一月三日（日）　臨時休業**

■一月四日（月）から平常どおり
（午前十時から午後八時まで）

町成人式

一月十五日　九時三十分～
町福祉センターで

うぶ声

出生児　保護者
森田　大志　康之　自治会
竹山潤一郎　義博　端山
上野　和哉　一雄　西ノ原
福山　洋聖　洋一　西江口団地
吉田謙太郎　健一　赤坂
脇田　由紀　満穂　棚目
江口美那子　哲夫　赤坂
奥　亜希子　誠　石野
内原田
服部　静枝　良市　新中
白石　勇太　光男　春日団地
上床　和哉　眞哉　岩原西
岡元　詩磨　正人　楠園
矢野　尚彦　尚久　永原
坂本美紗都　照義　豊町
大脇　陽子　年治　今町
東　大輝　武久　赤坂
濱崎　一秀　純二　岩原西
上園　揚子　茂　下新道
中原　広司　武廣　東塩入

▽十一月二十日までに住民票に記載された分を掲載いたしました。

御寄付

香典返しのかわりに御寄付をいただきました。厚く御礼申し上げますとともに故人のごめい福をお祈りいたします。（　）内は故人。

＝**町社会福祉協議会へ**＝

三万円　岩原東　原田良男（父　勲　八九）
三万円　札　立　東郷花子（夫　次夫五六）
五万円　井手向　井手向　堂（父　栄蔵九一）
五万円　田　中　井之上文子（夫　透七九）
五万円　西諏訪　宇都宮タカ子（夫對馬五六）
三万円　市　野　前村勝男（母　ユキエ六九）
五万円　下　浜　山之内信夫（母　ハナ八三）
二万円　南塩入　安田サダ（夫　政吉八八）
二万円　吉　原　高吉涼子（夫　操　五一）
三万円　丸　岡　隈原イキ（夫　近　六九）
三万円　新　中　戎　シヅエ（夫　澄吉七三）
二万円　小　陣　薬丸　誠（母　久子六一）
一万五千円　於　里　津崎親義（母　シヅ八八）
三万円　於　里　奥　ヤエ（妹　マツエ七〇）
五万円　端　山　松元サチエ（夫　重己七六）

＝**町育英奨学資金へ**＝

五万円　西諏訪　宇都宮タカ子（夫對馬五六）

＝**町老人クラブ連合会へ**＝

一万円　於　里　奥　ヤエ（妹　マツエ七〇）

▽十一月二十日までの御寄付を掲載いたしました。（年齢は満年齢）